

# 福島国際研究教育機構(F-REI) の施設整備の状況について

令和7年11月5日



Reconstruction Agency

復興・創生 その先へ

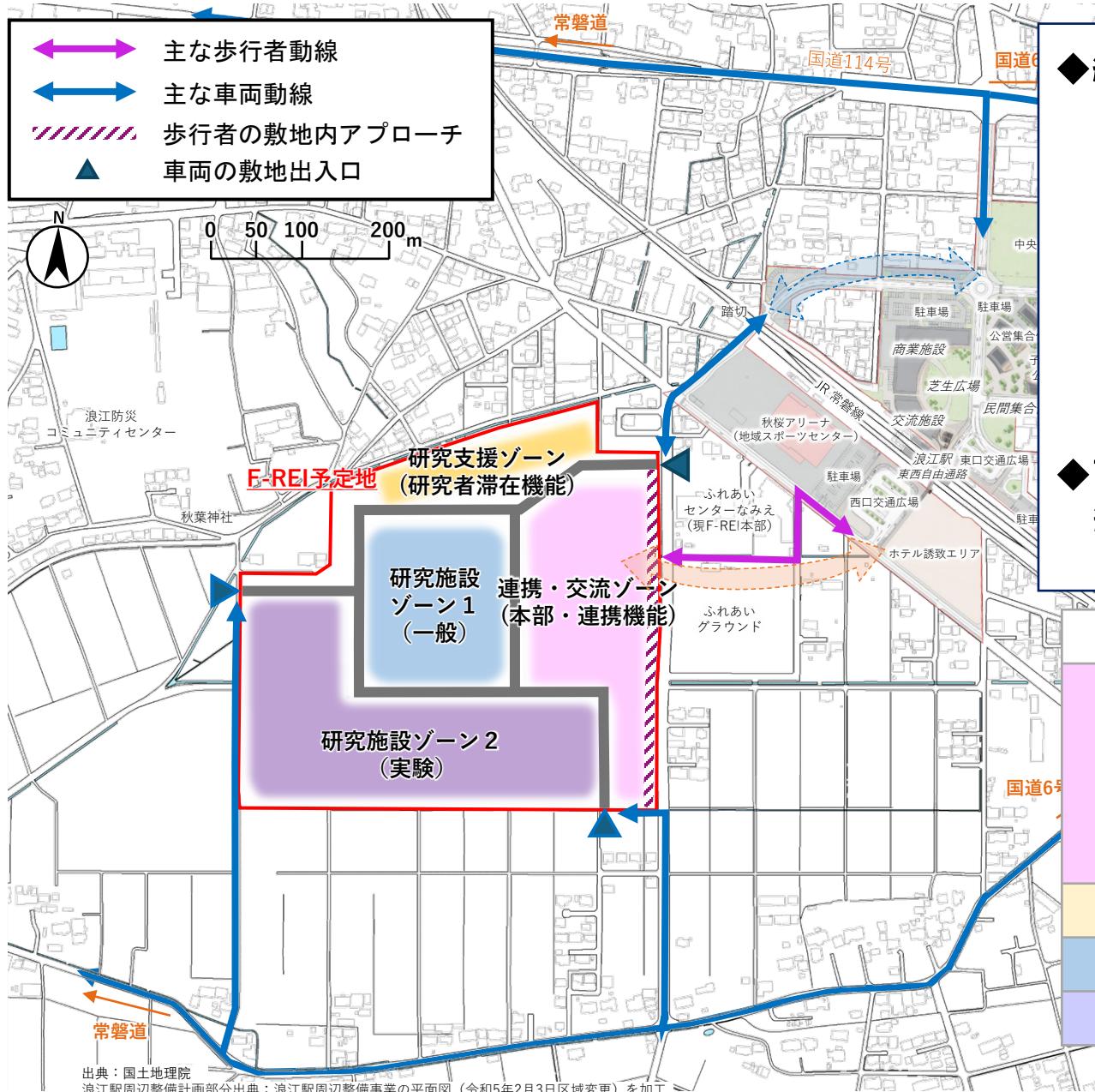
- F-REIの概要について
- F-REIの施設整備について
- 現地の状況について
- 施設整備イメージについて
- 交流空間、連携・交流ゾーンの意見募集結果について

# 福島国際研究教育機構（F-REI）（令和5年4月1日設立）の概要

福島国際研究教育機構（以下「機構」）は、**福島をはじめ東北の復興を実現するための夢や希望**となるものとともに、**我が国の科学技術力・産業競争力の強化を牽引し、経済成長や国民生活の向上**に貢献する、**世界に冠たる「創造的復興の中核拠点」**を目指す。



# 福島国際研究教育機構 (F-REI) の施設整備について



## ◆経緯

- ・R5. 4 F-REI設立、事務所開所
- ・R5. 9 都市計画決定
- ・R5. 10 用地取得に着手
- ・R6. 1 施設基本計画を策定
- ・R6. 7 施設等の設計に着手
- ・R7. 2～3 連携・交流ゾーンに関する意見募集
- ・R7年春 敷地造成工事に着手

## ◆面積

約16.9ha (東京ドーム約3.5個分)

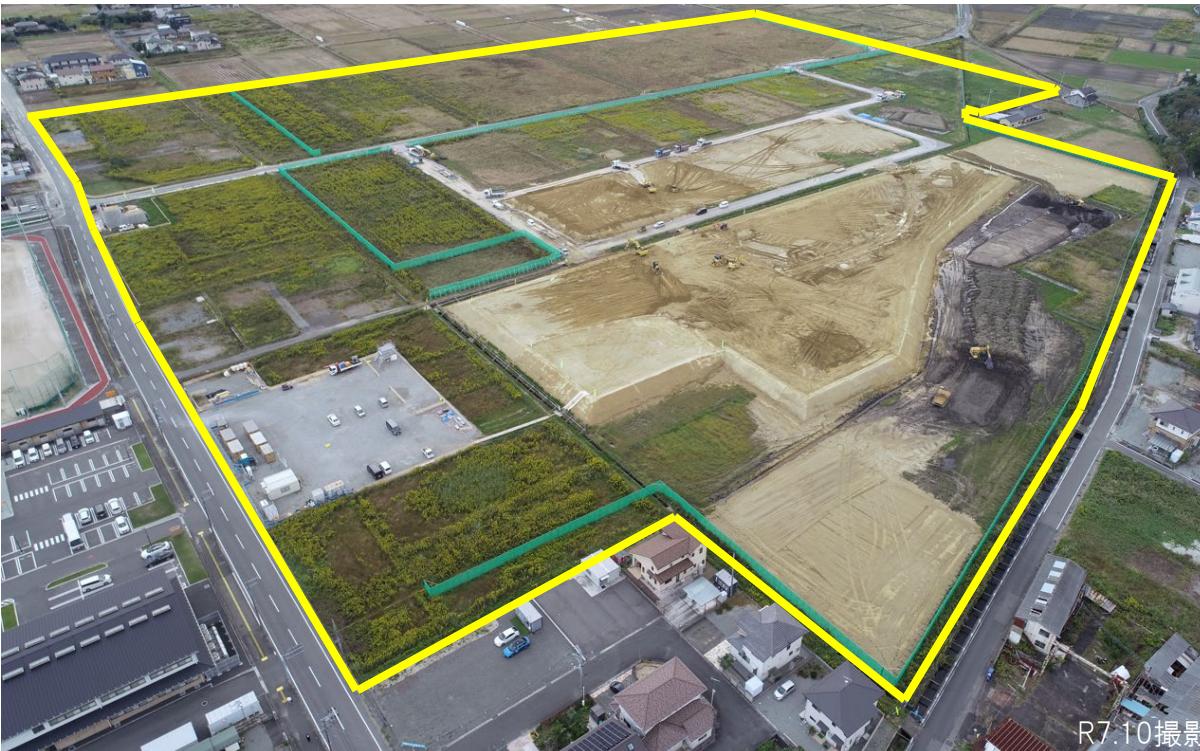
※都市計画事業における都市施設（研究施設）の面積

ゾーン名	主な施設
本部施設	
本部機能支援施設	
図書・情報施設	
講堂・ホール施設	
研究支援ゾーン	短期宿泊施設
研究施設ゾーン1	研究実験施設
研究施設ゾーン2	固有実験施設

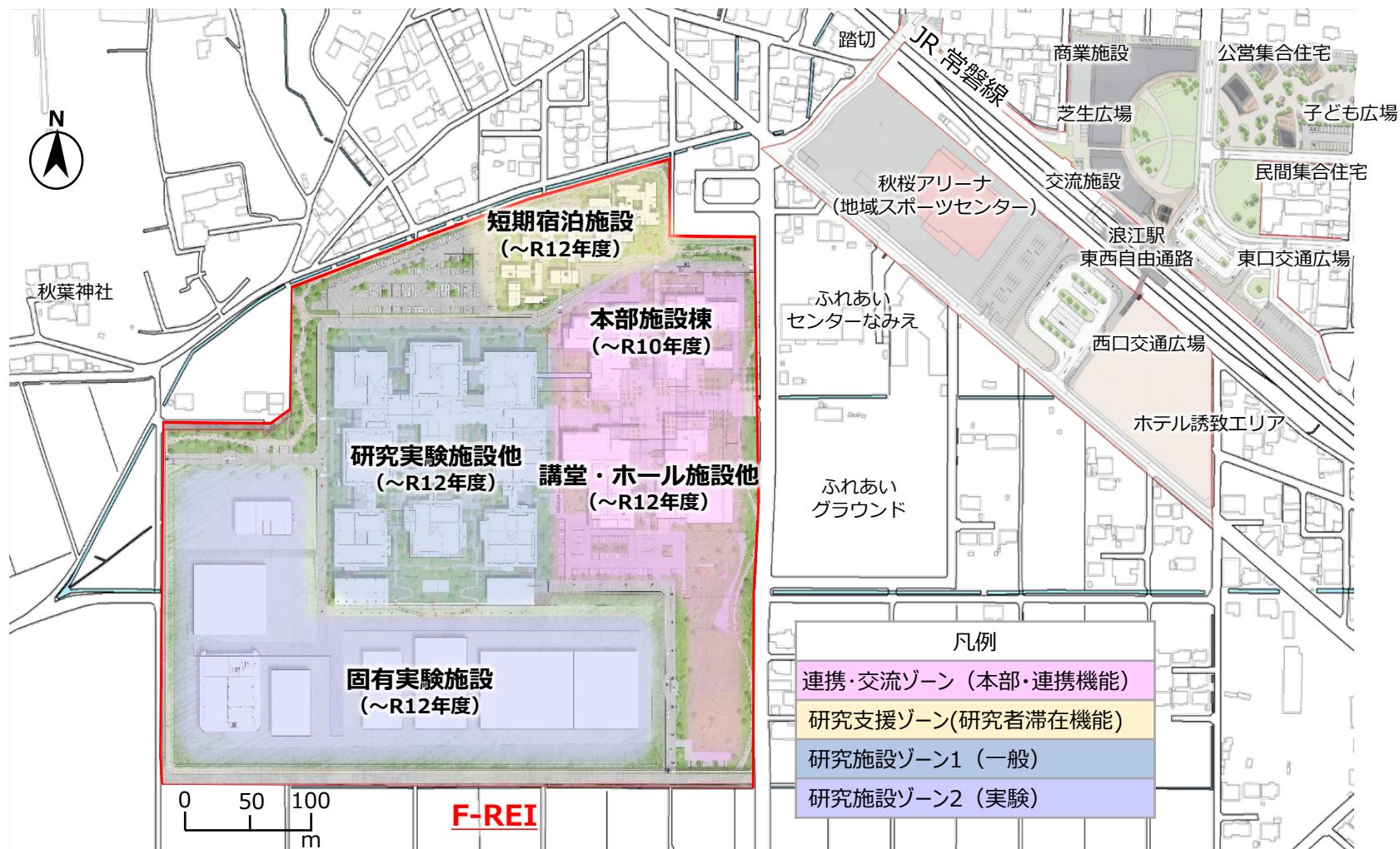
福島国際研究教育機構の施設基本計画（令和6年1月30日復興大臣決定）を加工して作成

# 現地の状況

本年度、敷地造成工事に本格的に着手



# 施設整備イメージ

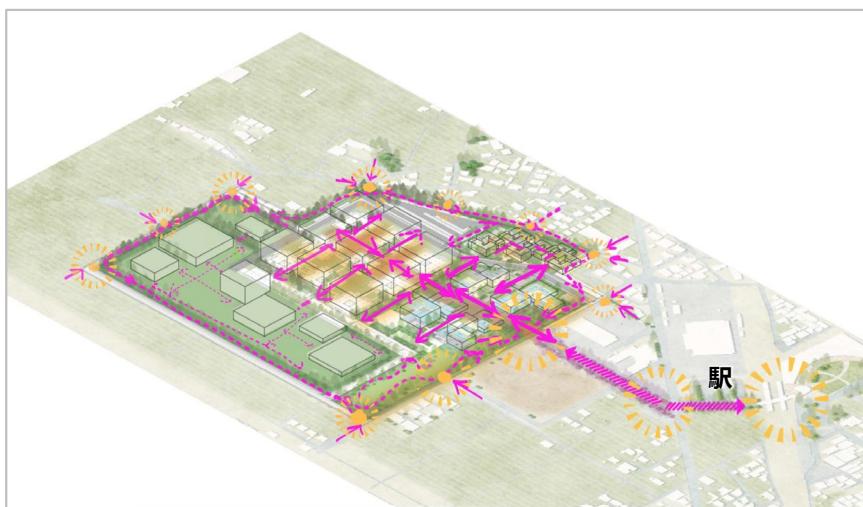
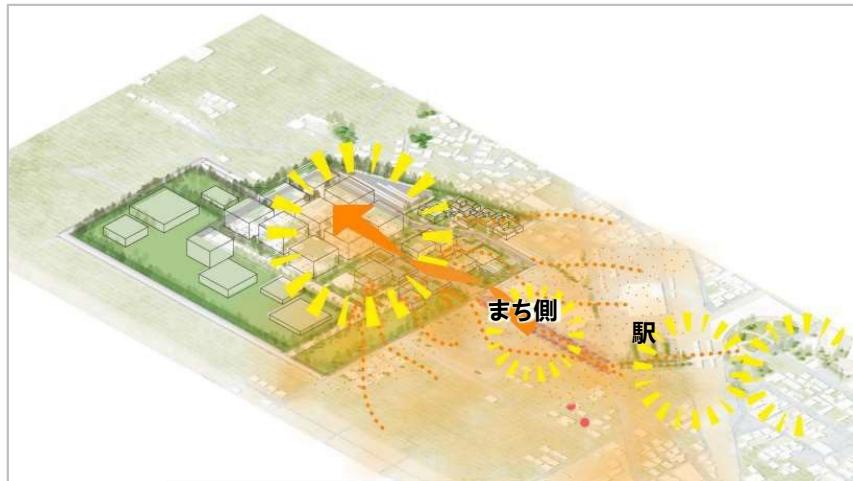


地図出典：国土地理院

浪江駅周辺整備計画部分出典：浪江駅周辺整備事業の平面図（令和5年2月3日区域変更）を加工  
整備イメージは日建設計・日本設計・パシフィックコンサルタンツ設計共同体より提供  
※整備イメージであり今後の設計で変更となる可能性がある

令和12年度までの順次供用開始を目指し、さらに本部施設棟については  
令和10年度の完成を目指すなど、可能な限り前倒しに努める。

# 周辺環境や景観に配慮した施設づくり



施設間や周辺のまちとの  
つながりをつくる歩行者ネットワーク

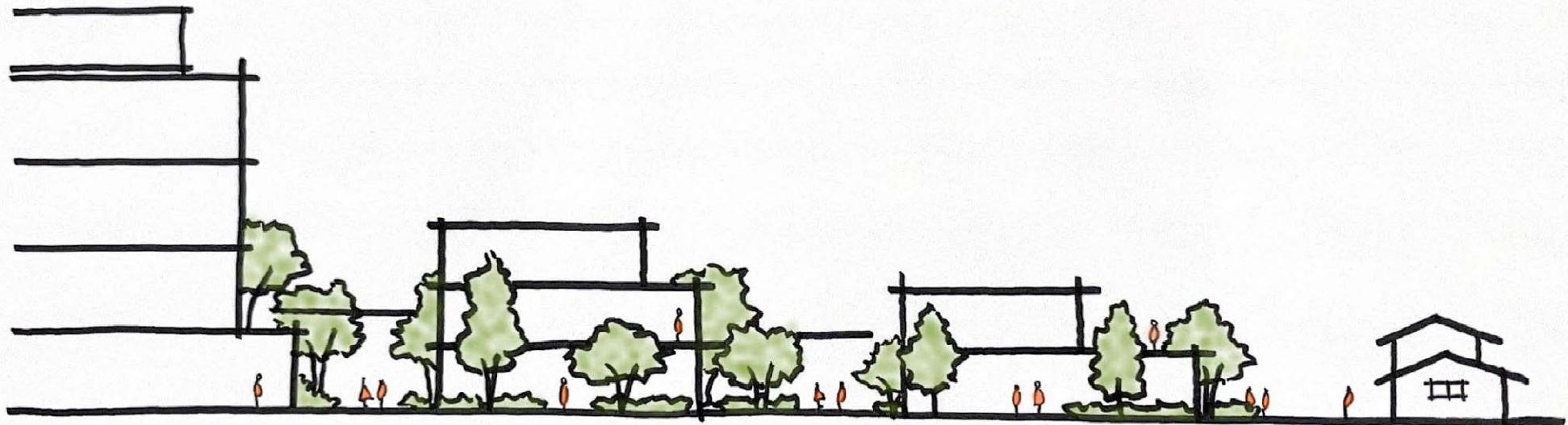


建築機能と一体となった  
多様な交流空間

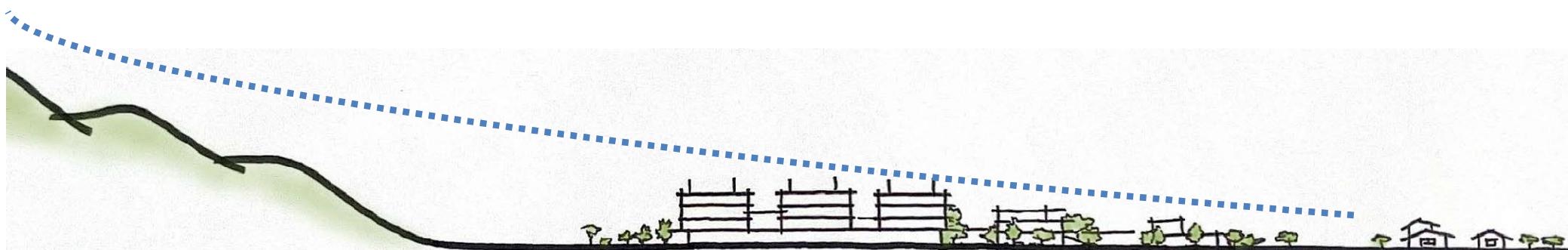
日建設計・日本設計・パシフィックコンサルタンツ設計共同体提供  
※整備イメージであり今後の設計で変更となる可能性がある

# 設計コンセプト

周囲の街並みに馴染むよう、低層分散型の建物配置



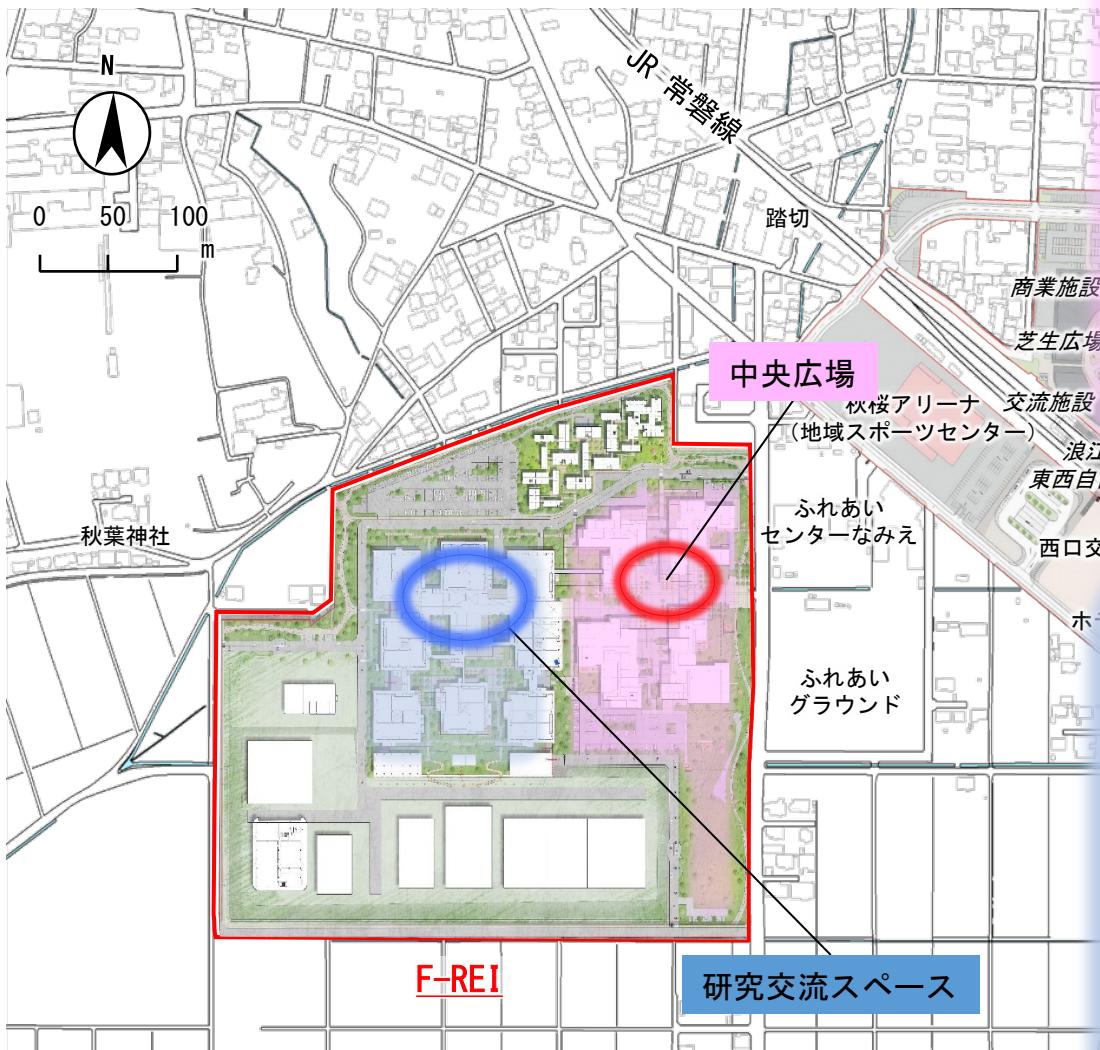
浪江駅側から阿武隈山地に向けて徐々に建物高さを高くする地形に馴染むスカイライン



日建設計・日本設計・パシフィックコンサルタンツ設計共同体提供  
※整備イメージであり今後の設計で変更となる可能性がある

# 開かれたF-REI ~交流・連携する機会を創出~

F-REIを訪れる人との交流、研究者相互の  
交流・企業との交流を促す空間を創出



日建設計・日本設計・パシフィックコンサルタンツ設計共同体提供  
※整備イメージであり今後の設計で変更となる可能性がある

## F-REIを訪れる人々の交流



- ・中央広場
- ・店舗
- ・カフェ・食堂
- ・講堂・ホール
- ・交流施設
- ・保育所
- ・イベントスペース

## 研究者や企業・大学等の交流



- ・研究交流スペース（日常的な交流を促進）
- ・産学連携交流スペース（企業等との共同研究）

# 連携・交流ゾーンの意見募集について

F-REIと復興庁は、F-REIに整備する予定の連携・交流ゾーンに関する意見募集を実施しました。

## 意見募集の概要

### ◆実施期間

令和7年2月10日(月)～3月14日(金)

### ◆実施主体

F-REI、復興庁

### ◆意見募集の方法

F-REI、復興庁のHPへの掲載

## 意見概要

連携・交流ゾーンに期待する機能、(仮称)中央広場の使い方などについて、以下のような御意見をいただいた他、F-REIへの応援メッセージもいただきました。

### <カフェ・食堂・購買・託児所など>

- ・多様な国の食文化や郷土料理を楽しめる
- ・夜遅くまで営業している
- ・子育てに関する情報が集まるハブ空間

### <施設全般>

- ・誰でも利用可能なフリースペース
- ・アンブレラフリーな空間
- ・外国人対応ができる
- ・F-REIの研究成果がわかる空間
- ・来訪者に地域の歴史・風土・特産物を知ってもらえる空間
- ・震災前の地域の様子を知ってもらえる空間
- ・浪江駅西側の交通等の拠点

### <(仮称)中央広場の使い方>

- ・定期的なマルシェやフリーマケットの開催
- ・F-REIの研究成果がわかるイベントの開催
- ・地元の祭り（十日市、野馬追など）での活用など、地域でも利用ができる
- ・ミニシアター、ライブ

## 回答状況

### ◆回答件数

25件

### ◆回答者の属性

・年齢層 20～30代 13件

40～50代 7件

60代～ 5件

・住所 福島県（浜通り）13件

福島県（中通り・会津）2件

県外 10件

・性別 男性16名、女性9名

# 施設整備イメージ



日建設計・日本設計・パシフィックコンサルタンツ設計共同体提供  
※整備イメージであり今後の設計で変更となる可能性がある